

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	36110	電話	042-769-8200
担当部課名	企画部	広聴広報	課	広報 班
事務事業名	点字版広報さがみはら			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第6章	高度情報化への対応を図ります	事業開始年度
基本施策名	第1節	豊かな市民生活を実現する情報化の推進	63以前年度
施策名	第1施策	情報通信メディアを活用した行政サービスの推進	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市広聴広報規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

県費補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
月に2回(1日、15日)に発行している広報紙「広報さがみはら」の情報を、目の不自由な人に届ける手段として点字版を作成する	視覚に不自由のある人
	対象数 55(人・箇所)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
「点字版広報さがみはら」の発行・・・月2回(1日号、15日号) 社会福祉協議会に作成委託	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
活動指標	配布率	$(\text{点字版広報配布対象者数}) \div (\text{全市の視覚障害1・2級の人のうち、施設などに入所していない人の数}) * 100$	点字版広報を必要とする視覚障害者への配布率から点字印刷物による広報効果をはかる	13	13	12	10	14

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
		1,792	1,749	1,628	1,617	2,300
	人員・時間数	2人×12日	2人×12日	2人×12日	2人×12日	2人×12日
	人件費	774	774	774	774	774
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	2,566	2,523	2,402	2,391	3,074
	特定財源	1,195	1,195	1,112	845	1,000
	対象数	60	60	55	50	70
	対象の単位あたり経費	42.8	42.1	43.7	47.8	43.9

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	・「広報さがみはら」の内容を3分の1ほど削除して作成している。 ・希望するすべての障害者に郵送している。 ・点字版の周知については、引き続き行っていく必要がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある ・視覚障害者にとって、点字印刷物は、情報取得の方法として欠かせないものである。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	・点字版広報を必要としている人のもとに、郵送で着実に届いている。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	・対象者が限定されている事業のため、コスト高である点は否めない。
(5)公平性 評価 B ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	点字版広報では、広報さがみはらの内容を3分の1ほど削って作成している。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: ・障害福祉課と協力し、「声の広報・点字版広報」の周知をさらに徹底する。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 視覚障害者への広報手段として、点字による広報は多くの市町村で行われている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 視覚障害者への広報手段として、点字印刷物は定着しており、このまま継続していくべき事業である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--